

高精度なレーザー微細加工で

カーボンニュートラルに貢献！

（株）片岡製作所

専務取締役

西 則 男



置は一昨年と同等の販売を維持して参りました。半導体業界が一部で停滞しておりましたが回復の見通しがあることから昨年後半から超精密穴あけ装置の引合いが増加しております。

カーボンニュートラルに

昨年を振り返りますと、5月にはコロナ禍は5類に分類され収束して参りました。また部品不足の問題も徐々に解消して参りました。二次電池業界や太陽電池業界向けのレーザー加工装

置は一昨年と同等の販売を維持して参りました。半導体業界が一部で停滞しておりましたが回復の見通しがあることから昨年後半から超精密穴あけ装置の引合いが増加しております。

また、電子部品や二次電池などの材料塗布後の乾燥工程における省電力化を目的としたレーザー乾燥の適用について、弊社独自の広範なエリアで均一なエネルギー

また、青色レーザー加工装

ギー分布となる光学系を開発し販売を開始しました。このレーザー乾燥装置は従来の乾燥方法と比較して装置の設置スペースが小さくなり、電力消費を大幅に削減することが可能となることから注目を浴びております。

一方で、販売が好調な超精密穴あけ装置においては加工時間を従来の三分の一に短縮した高速タイプを開発し、直径10mmの丸穴加工を±1mmの加工位置決め精度で高速かつ高精度に加工が可能であり、さらに四角穴も角Rを3mmまで小径化を実現し、販売を開始しました。

置では従来の銅溶接に加え銅線の被膜を高速で剥離するなど青色レーザーの特徴を活かした加工を実現し、適用アプリケーションを広げました。

はじめ電気自動車業界、電子部品業界、太陽電池業界はカーボンニュートラルへ向けての取組みによってレーザー加工のニーズがさらに高まることと予測されることから、超精密穴あけ装置、

青色レーザー加工装置、太陽電池パターニング装置、レーザー乾燥装置を中心に昨年よりさらに販売が増加する見込みです。

また、継続して海外ビジネスの拡充に取り組み、定

め、技術者の補充や育成にも力を入れて参ります。35年以上にわたるレーザー加工の経験を活かし、カーボンニュートラルの実現にレーザー加工で貢献できるよう努めて参ります。

また、青色レーザー加工装